



**水道事業の取組、高校魅力化
コンソーシアムモデル構築支援
事業、イノシシ被害対策について**

五通 俊作（公明党）



【本市の水道事業の取組について】

問 衛星の活用を視野に入れた管理手法導入の考えは。

答 現時点では導入の予定はないが、他自治体での活用実績等を参考に有効性や信頼性などを総合的に判断したい。

国においては衛星を活用した漏水探知技術など、デジタルデータを活用した新技術の利用を推進していることから、費用対効果等を踏まえ、新技術の活用による省力化や効率化に取り組みたい。

【高校魅力化コンソーシアムモデル
構築支援事業について】

問 市長の県立高校に対する考え方は。

答 地域や熊本県と連携した県立高校の魅力化に取り組み、市内の教育環境の充実や長期的な将来を見据えた地方創生を進める必要があると考えている。

【本市のイノシシ対策について】

問 捕獲報奨金の増額や捕獲実績に応じた加算制度の導入の考えは。

答 捕獲報奨金は県下でも高額であり、捕獲隊員に対しては、他の支援事業も行っていることから、捕獲報償金額の増額や加算制度の導入については考えていない。



▲イノシシに荒らされた果樹園



**軍艦「長良」、八代・天草シーライン、
牛深ハイヤ大橋について**

浜崎 昭臣（政友会）



【軍艦「長良」について】

問 船体の一部でも引揚げられないか。

答 ご遺族の意思を尊重し、長良の引揚げの検討はしていない。

問 戦没者の慰霊を通して戦争の苦しみと平和の尊さを語り伝えていくために「軍艦長良記念館」を建設できないか。

答 うしぶか海彩館の記念館をより利用しやすい環境に整え、内容を充実させたい。

要望 撃沈された方角を向いた長良のレプリカと規模を大きくした新たな「軍艦長良記念館」の建設に向け専門家を入れて発起人会を立ち上げるよう強く要望する。

【八代・天草シーラインについて】

問 予測交通量の再調査を早急に実施してもらいたい。

答 令和8年度、八代・天草シーラインの経済波及効果を算定するための調査が予定されている。関係自治体と共に地元の機運醸成に取り組んでいく。

要望 平成23年度調査では、有料の場合1日当たり900台という予測だが時代に即していない。黒之瀬戸大橋でも有料化の昭和63年度は4,500台の通行台数である。一日も早い再調査を強く要望する。

【牛深ハイヤ大橋について】

問 工事の現況と今後は。

答 支取替工事の完了は令和8年度内を目指している。経費の総額は約30億円で、県と連携して、牛深ハイヤ大橋を末永く安全に保てるよう努める。



▲牛深ハイヤ大橋



**コミセンの空調整備、キリシタン
資料館における民間活力の推進
について**

中尾 友二（新風天草）



【災害時の避難場所等にも活用されて
いる講堂等の空調設備の推進について】

問 現在の設置状況は。

答 コミュニティセンターは市内に53か所あり、ほとんどの会議室等に整備しているが、講堂等は未整備の状況である。講堂等は多くの方々が利用する機会があり、近年の酷暑で利用が制限されるとの意見を伺っている。

問 未整備の場所について今後、整備していく計画はあるのか。

答 近年の酷暑は利用者である市民の健康を守るためにも喫緊の課題だと認識している。利用目的や頻度、近隣のスポーツ施設等の空調設備の整備状況・整備計画、避難場所としての利用の有無等、個別に講堂等における空調設備の必要性を踏まえ、整備の検討を進めていきたい。



▲講堂で遊ぶ子どもたち

【キリシタン資料館における
指定管理者制度の導入について】

問 民間事業者が参入しやすい指定管理者制度に改善し、キリシタン資料館への制度導入に取り組む必要があると考えるが。

答 指定管理者制度の設計は、民間事業者へのインセンティブや賃金・物価スライドの導入のほか、設計に伴う課題への対応や施設の運用方法など全体的な見直しを行い検討していく。



**スポーツ施設の環境整備、
御所浦水道の危機管理、不登校
の現状と今後の対策について**

柴田 誠（政友会）



【屋外スポーツ施設の環境整備について】

問 屋外スポーツ施設にベンチや東屋の設置は考えていないのか。

答 夏場の熱中症対策なども含め、令和7年度はあましんスタジアムに東屋を2棟、テーブル2台、ベンチ4台、健康遊具3台、錦島運動広場にベンチ8台の整備を行った。また、牛深総合グラウンドにはベンチ4台の整備を計画している。今後も施設の利用状況や利用者などに意見を伺い、それぞれの施設に必要な環境整備を計画的に進める。



▲大矢崎緑地公園に整備された東屋

【御所浦の将来における水源確保について】

問 御所浦島内の水源を利用する施設の検討も必要ではないか。

答 島内において水源の確保ができたと仮定しても水を飲めるようにするための浄水場の建設が必要となる。施設の維持管理費も発生するため、総合的な費用比較を行い検討していく。

【不登校の現状と今後の取組について】

問 今後の課題と展望は。

答 市内の全小学校17校に心の教室相談員を配置するなど早期対応を行うための検討をしている。また、新たに教育支援センターを設置し、不登校児童生徒の居場所づくりの確保について検討している。また、教室以外でのオンラインによる多様な学びの充実を図る。